

# ふれあい

平成23年 8月 第302号  
大代地区コミュニティ推進協議会  
( 広 報 部 )  
事務局 : 大代地区公民館  
TEL 080-5064-9319

## 掲載目次

- 東日本大震災2 . . . . . 1
- 仙塩浄化センターの現状についてのご報告 . 2
- 星の見方 . . . . . 3
- 大代の歩み (三十七) . . . . . 3
- 熱中症対策 . . . . . 4
- 大代地区公民館からのお知らせ . . . 4

## 東日本大震災2

大代中区長 小野 菊郎

海苔は昔から、おにぎり、せんべい、太巻き、軍艦巻き、味付け海苔、焼き海苔等に加工され、広く私たちの食卓に欠かせない食材として用いられてきました。

大代には、七軒の海苔生産者がおりましたが、現在二軒の方が三代に亘って海苔生産に携わっております。日本での海苔は約九十億枚生産されておりますが、その一部が大代産であります。しかし、東日本大震災の発生により全て無になってしまいました。(これは、ふれあい四月号掲載予定の原稿の一部でした。)

大代中区は、家屋一八四世帯ですが、損害額は一三億円に上ります。貞山堀、砂押川沿いを中心に家屋の損傷が激しく解体せざるを得ない状況です。以前の賑わいに戻るのにはどれほどの時間を要するのでしょうか。公的支援を始め多くの方々にご援助を頂き、各自再建に向かって努力されております。笑顔で挨拶できる日が一日も早く訪れますよう前を向いて進まざるを得ません。

大代地区は、①三〇万人分の下水処理施設から発生する臭気問題及び貞山堀の汚染問題 ②貞山堀の違法繋留プレジャーボート問題 ③地域活動拠点である公民館復旧実現等、今回の震災で様々な難事が浮かび上がりました。これらの問題は住民が声を上げなければ解決しません。失った財産を再建す

るには住民の声と行動がなければ実現しません。多くの方の声に期待いたします。

## 仙塩浄化センターの現状についてのご報告

宮城県中南部下水道事務所

所長 今福 久幸

日頃から、宮城県下水道行政の推進につきまして、ご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

今般、皆様方には、大変なご迷惑をおかけしております。特に仙塩浄化センターの臭気問題について、紙面をお借りしてお詫びと御説明をさせていただきます。仙塩浄化センターは、東日本大震災により甚大な被害を被り、下水処理機能は全て停止し、汚水の処理ができなくなりました。一方、震災直後の混乱から徐々に社会活動が復旧するのに伴い、排出される汚水も増大し、その処理について緊急的な対応を迫られました。処理施設の機能停止により、場内における仮設ポンプのみでの排水が不可能な状態であったため、緊急的に緩衝緑地公園内に仮沈殿池(図①)を設置しました。汚水をポンプホールからくみ上げ、仮設沈殿池に引き入れて、沈殿させた後に、わずすみ水に塩素消毒を行い貞山運河へ放流しました。(3月中) また、機能を停止した下水処理施設の早期復旧を図るため、施設に溜まった汚泥と津波により堆積した土砂等を取り除く必要があります。これらは水分が多く場外への搬出が出来な

い事から、やむを得ず、浄化センター内にある既存水処理施設内の一部と新たに設置した汚泥仮置場



(図②)にこれらを仮置きしております。7月13日現在、仮設沈殿池(図①)は、水処理施設の一部機能回復に伴い、撤去作業に入っております。既に底に溜まった汚泥の場外搬出を終了し、7月中には埋戻し作業を完了する予定です。既存施設内部の汚

泥については、8月中旬から仮囲い等の臭気対策を実施したうえで、場外へ搬出します。汚泥仮置場(図②)の汚泥については、搬出前に固化剤を混合する必要がありますがあり、その際の臭気を考慮し、窓を開けて過ごす機会の多い夏場の搬出は控えることとしました。夏場はシート及び覆土により臭気対策を施し、年内撤去を予定しております。現在、シートによる覆蓋や1日に4回程度の消臭剤を散布する等、臭気対策に取り組んでおります。しかし、風向きや今後の作業状況によっては、臭気を感じる事があるかと思いますが、今後も臭気対策及び施設の完全復旧に向けて、全力で業務にあたっておりますので、今しばらくのご辛抱をいただきたいと思っております。連絡先(367)4001

## 大代の歩み(三十七)

大代南区 渡邊 巖

出陣を命じられた藩士達が、その経費の調達に懸命になっていたのである。しかし、給人の中には肝入りに借財があり、肝入りは年貢米を抵当にした小作人からの借金返済が大幅に遅れていたが、取り敢えず一部を手形で返し、残りは藩の御用商人に頼んで借金し、返済に充てると約束している。

この様に家臣の困窮が進んだ原因は既述(三十四号)の通りである。

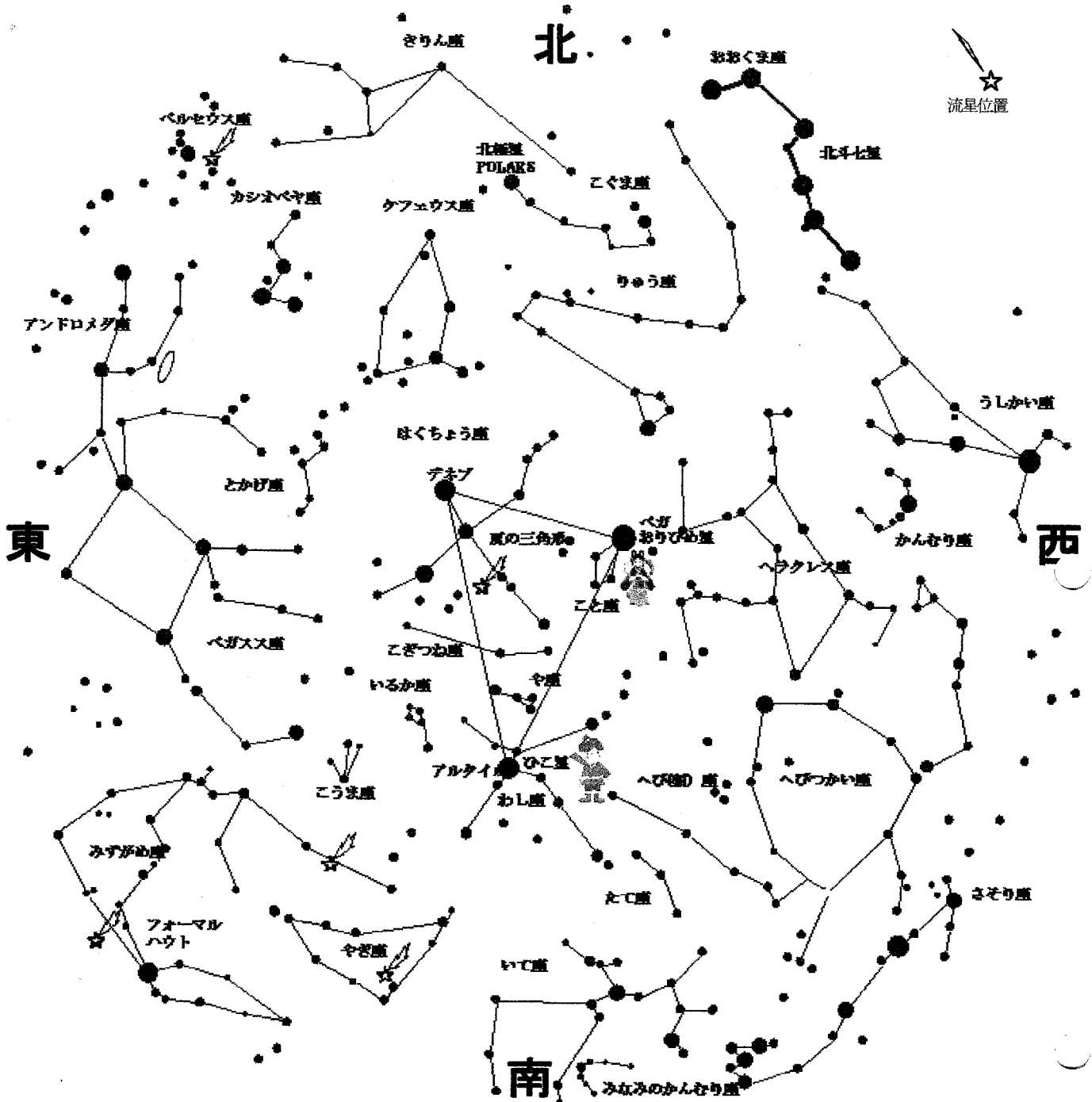
いよいよ出陣間近となった慶応四年三月二十二日、仙台藩は藩内各地から武術に優れた人材を集めて『投機隊』という一隊を編成したが、その後四月に会津藩征討が始まると間もなく総出陣体制が命じられた。

先ず四月七日、藩主の会津征討出陣に先立って投機隊員は「斥候」として状況を探るため伊達方面に潜入、翌月には中山口の戦闘に参加する。この他に投機隊員は戊辰戦争中、白河・須賀川・会津などを転戦したのである。戦線はこれだけでなく相馬や三春方面、遠くは秋田や新潟方面に及んだ。多賀城地域内に住んだり、知行地を持ったりした武士達も、何れかの地方でこの様に戦っただろうし、農民の中にも班が編成した農兵隊に徴発されて此の戦争に参加した人々もあったのである。

さて、戊辰戦争開始後、奥羽鎮撫軍の参謀(世良修蔵は下級参謀)から会津征討の実行を何度も催促された仙台藩は四月十一日出兵したが、会津藩とは戦わずに和議終戦を図るべく、同じ考えの米沢藩と協力して秘かに会津藩と連絡を取った結果、会津藩との和議条件は四月二十六日に纏まった。これを基に仙台、米沢両藩は奥羽諸藩に使者を送り、白石で会議を開いて会津藩の救済と征討軍の解散を決議した。これが奥羽諸藩同盟である。

しかし、此の同盟が奥羽諸藩の悲運の発端になるうとは。

続く



## 星の見方

大代星を観る会

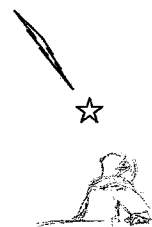
会長 加藤 渉

上の図は8月上旬22時頃、9月中旬19時頃の空、8月は月遅れの七夕（二棚機）の季節、上図、夏の三角形を横ること座のペガは、織姫星、わし座のアルタイルは彦星（イラスト部）がある。南のいて座から、北のペルセウス座にかけて、天の川銀河があり、銀河の帯は、天球を一回りしている。1000m位の高山で、月光や、灯火のないところでは雲の帯に見え小口径の双眼鏡でも星粒に見える。8月は流星のラッシュ、条件さえよければ（新月「闇夜」、観測周辺に灯火がない）每晚観ることが出来る。短時間で多くの流星群が一箇所から見える事を流星群、（時間当たり5個から100個）雨が降るような状態の流星群を、流星雨（りゅうせいう）と呼んでいる。8月には次の流星群が見える。1日、やぎ座、7日、みずがめ（南）13日、ペルセウス、18日、はくちょう座、20日、みずがめ座（北）と多いが月明かりが残る。1日のやぎ座は、新月で、期待が持てそう。（このふれあい）が7月中旬に配布とは限らないが、8月3日位まで罹災地区だから猶予しようかと天体も言うわけがない。ふれあいは、後で見られるから、とりあえず、流れ星を見ておく。そして、このページは星座早見盤として活用出来るので9月イッパイは保存をお勧め。この図は、見上げ図になっているので方位（東西南北）記号に合わせ

て見上げると天体の方位が解る。流星が目に入らないように注意?

また、友達や家族で出かけるキャンプや田舎に泊まらうを計画している方には、スターウォッチングは特にお勧め。

子供に星名や星座を聞かれた場合、即答出来るように勉強しておく、子供に親の価値観を改めさせる絶好の機会だ。間違っても冬の星座は禁句である。



## 熱中症対策

大代地区コミュニティ推進協議会

広報部長 佐藤聰子

今年は6月あたりから非常に暑い日が続いており、特に体調管理に注意が必要なシーズンです。ニュースなどでは、多くの方が熱中症にかかっていることや、ラジオなどでは熱中症対策がしきりに放送されています。熱中症とは、気温が高いときに運動などをすることにより、発汗機能や循環機能が異常をきたし、めまいや吐き気、痙攣などの起こし、重度のものになると、熱射病と呼ばれ、言動がおかしかったり、意識がもうろうとしている、意識がないといった非常に危険な状況をもたらす症状です。

30度を超える日が多く、少し外に出ただけで汗が噴き出し、長時間の作業を行う方は特に危険であることを自覚しましょう。頭がくらくらしたり体が

熱を持っていると感じたときは、涼しい日陰などに移動する。室内に移動して水で濡らしたタオルなどを首筋や脇、手足などにあてる。水分を補給することが大切です。また、汗は水分だけではなく、塩分などの成分も体内から排出していますので、普通の水よりもスポーツドリンクなどをこまめに飲むことや塩分をとることが効果的のようです。

軽度の場合は徐々に回復していきますが、体調によつては軽い症状だったものが、重くなってしまう場合もあります。吐き気や嘔吐などで水分補給ができない場合などはすぐに病院へ向かい、点滴などの措置をとってもらいましょう。意識がないなど危険な場合はすぐに救急車を呼び、その間も医師に応急措置の方法を聞いて備えるなど、日頃からの体調管理のほかにもしっかりとした対策も必要となります。

夏はこれから本番です。天気もよく、暑い日が続いて例年より多くなるかもしれません。全国各地では、過去の最高気温の記録が更新されているところもあり、これからもまだまだ暑くなるのが予想されます。また、今年は電力不足も予想され節電にも目を向けなければならぬので、一人ひとりの暑さ対策が重要になってきます。運動などをするにしても、気温が高いときは様子を見るなどして無理はしない。水分はしっかりとる。畑仕事などでも同様です。体調にいつも以上に気を配りながらこの夏を乗り切りましょう。

## 大代地区公民館からのお知らせ

○ 体育室に保管中の遺失物縦覧は、7月末日までとなります。8月からは、文化センター隣の市民活動サポートセンターで縦覧いたします。

○ 消石灰、クレゾールを配付していましたが、在庫がなくなりましたので終了いたします。

なお、土のうについては、まだ在庫がありますので引き続き配付を継続いたします。

○ 印鑑証明等の自動交付機については、津波の被害を受け、使用不可能となっておりますので、市役所等の交付機をご利用ください。

○ 図書館大代分室について現在休館中ですが、移動図書館さんか号が8月17日(水) 10時から10時30分まで公民館駐車場に参りますので、ご利用ください。

※ 大代地区公民館の固定電話は、都合により不通となっております。ご用のある方は、左記の番号にお問い合わせします。

Tel 080-5064-9319